

令和元年度事業レビュー開催結果について

総務課

1 報告事項

事業レビュー（1日目）を10月12日（土）に開催し、対象事業の町民評価員29名の評価をいただいた。

2 評価結果

No	事業名	評価結果			評価・意見 （一部抜粋）
		不要 凍結	見直し	現行通り 又は拡充	
1	地区公民館事業	1	26	2	・社会教育、地域づくり等を一本化して考えるべき
2	斎場管理	3	23	3	・中部広域との統合は費用を明確にした上で検討 ・料金の見直しは必要
3	地域おこし協力隊活動事業	10	13	4	・町として求める成果、目的が不明確 ・地域の若者に対する不公平感がある
4	交通費助成制度	1	22	4	・サービスの重複、制度統一による見直し ・課税要件の見直し

交通費助成制度の「見直し」評価内訳

助成制度名	判定	評価・意見（一部抜粋）
交通空白地タクシー助成	見直し （15）	・乗り合わせ、スクーパス、ウバーなど様々なやり方を試行（運転手不足の中、タクシーに頼らない手法） ・ルート見直しにより交通空白地の解消ができないか
外出支援タクシー利用助成	見直し （17）	・タクシー以外の手段も検討（運転手不足の中、タクシーに頼らない手法）
腎臓機能障がい者交通費助成	現行通り （13）	・要項を改正し、もう少し内容を簡素化すべき（距離区分が細かすぎる）
重度障がい者タクシー料金助成	見直し （11）	・本当にバスが利用できない障がいの種類の方に限定
作業所等通所障がい者交通費助成	見直し （17）	・作業所への補助（作業所からの対象者への支払い）

3 事業レビュー（2日目）について

順延となった事業レビュー2日目は、外部有識者（審議員）等との日程調整を行い開催する。

4 事業レビューの評価結果の反映について

いただいた評価、意見を検証し、町の方針とその反映状況を公表していきます。

台風による土砂災害を想定した古布庄地区住民避難訓練について

総務課

1 日時 令和元年 10 月 27 日(日) 午前 11 時 00 分から午後 12 時 30 分まで

2 場所 古布庄地区

3 災害想定

- 10 月 27 日(日)午前 9 時に台風 24 号が高知県に上陸。鳥取県では朝方から雨が激しくなり、午前 10 時 30 分には大雨警報(土砂災害)(警戒レベル 3 相当情報【土砂災害】)、強風注意報、洪水注意報が発表され、断続的に強い雨が降り続けている。
- 町災害警戒本部は災害対策本部に移行し、土砂災害の危険度が高まっている古布庄地区に「警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始」を午前 11 時 00 分に発令し、要配慮者とその支援者に避難を呼びかける。
- 午前 11 時 05 分に、土砂災害警報システムのメッシュ情報で「実況で土砂災害警戒情報の基準」(警戒レベル 4 相当情報【土砂災害】)に到達し、午前 11 時 10 分琴浦町に土砂災害警戒情報(警戒レベル 4 相当情報【土砂災害】)が発表され、町長は、古布庄地区の山沿いに居住する者に対して「警戒レベル 4 避難勧告」を発令。
- 午前 11 時 20 分に「大雨特別警報」が発表され、警戒巡視に当たっていた消防団第 5 分団より、野井倉で土砂崩れが発生し、民家が土砂に埋まっていると報告があり、町長は「警戒レベル 5 災害発生情報」を発令する。

4 参加対象

古布庄地区自治会、琴浦大山警察署、琴浦消防署、琴浦町消防団(第 5 分団)、琴浦町

5 内容

- (1) 住民避難訓練
- (2) 避難所開設、運営訓練
- (3) 通信訓練
- (4) 居住空間設営訓練

6 スケジュール

時刻	内容	詳細
11:00	「警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始」発令	防災無線・トリピーメール 警察署・町消防団
	避難所開設・要支援者避難開始	古布庄地区公民館
11:10	「警戒レベル 4 避難勧告発令」	防災無線・トリピーメール
	避難開始	
11:20	土砂崩れ発生確認	野井倉
11:25	「警戒レベル 5 災害発生」発令	
11:30	避難所居住スペース設営	
12:00	炊き出し訓練(アルファ米)	
12:30	訓練終了	

1 開催状況

(1) 趣旨

中堅職員を主な対象とした研修会を開催(北栄町・大山町と連携して開催)。自治体職員の政策企画能力の更なる向上を図る。

(2) 開催状況(会場：本庁舎防災会議室)

番号	開催日	テーマ	講師	参加者数
①	5/30	人口減少社会のまちづくり	福嶋 浩彦 氏 (中央学院大学教授)	47名
	7/5	※7/25は3町事例発表と意見交換を実施		40名
	7/25			計113名 26名
②	9/26	地域づくりを いかにして行うべきか	伊藤 敬幹 氏 (ほくとう総研理事長、元仙台市副市長)	40名

(3) 反響(参加者アンケートより)

- ・ 持続可能な仕組みに変えるため「うまく小さくして質を高める」大切さを学んだ。
- ・ 何か新しく地域と一緒にものを考え、質の高い行政サービスに励みたい。
- ・ 今後のわが町のまちづくりに真剣に、そして楽しみながら取組んで行きたいと思いました。
- ・ 計画を作ることが仕事になっている。整理・廃止することの決断の大切さを発見した。



参加者からは、政策企画の重要性を再認識するとともに、今後のまちづくりへの意欲を感じさせる反応をいただいている。

2 今後の予定・展望

(1) 令和元年度 第3弾講座を下記のとおり開催

ア 日時・会場 令和元年10月31日(木) 15:00~17:00 本庁舎防災会議室

イ 講師 総務省地域想像力アドバイザー 戸田 善規(とだ よしのり)氏(前・近畿町村会長、前兵庫県多可町長)

ウ テーマ 輝く地域を次代につなぐ~新しいローカリズムの幕開け~

(2) 令和2年度以降

本年度の成果を検証し、職員の政策企画能力向上につながる研修会を継続開催、人口減少時代に対応できる未来のまちづくりを担う職員の育成を進める。

輝く地域を次代につなぐ

～新しいローカリズムの幕開け～



講師 総務省 地域力創造アドバイザー
 (前・近畿町村会長、前・兵庫県多可町長)
 とだ よしのり
 戸田 善規さん

町村長経験者で「全国初」の総務省地域力創造アドバイザー 戸田善規さんの ひとことPRです。
 『私は実践者(実戦者)です。全国の中山間地域の自治体に「ステキなふるさと」であり続けて欲しいと願っています。「地域資源を活かすければ、人もまちも元気になれる」これが私の確信です。時代がうつり、確実に生き方が変わります。新しいローカリズムの幕開けの時が来ています。町職員も大切に貴重な「地域資源」の一つです。ヒントいっぱいの講演。ぜひご参加ください。』

10/31(木)
 15:00~17:00

会場 琴浦町役場本庁舎防災会議室

☆講師プロフィール☆

1952年生まれ。25歳で国会公設秘書、34歳で旧加美町議会議員、39歳で同議会議長、46歳で旧加美町長に就任。

合併後は初代・多可町長として旧3町の住民の「心の合併」に尽力。「山田錦」、「杉原紙」、「敬老の日」の3つの発祥地であることを町の特性に昇華させ、全国にアピールするとともに、6次産業化、2地域居住、住民主導の文化会館運営など先進的な取り組みを展開。64歳で首長職を勇退。

町長として5期にわたり町政発展に寄与しながら、全国町村会理事、近畿町村会長、兵庫県町村会長、内閣府地方分権改革推進有識者会議議員、厚労省厚生科学審議会委員、全国簡易水道協議会(副会長)などの要職を歴任。

◎ 日程・内容・対象

日時・会場	主な内容	対象・定員
令和元年10月31日(木) 15:00~17:00 琴浦町役場 本庁舎防災会議室	○ <u>町村は何故 輝けるのか</u> ステキな町村：その背景、町村の価値と優位性 ○ <u>地方自治体を取り巻く変化</u> 政府と地域の転換期、人口減少は大チャンス ○ <u>次代のまちづくりに必要なこと</u> いかに上手に縮むか、さわやかな役所 ○ <u>「際立った個性」を活かす</u> 「こころの誇り」創出、強みを活かして夢を描く ○ <u>次代に先駆けるまちを創る</u> まちづくりの必要条件と十分条件 ○ <u>新しいローカリズムの幕開け</u>	[対象] 琴浦・北栄・大山3町役場の中堅職員(課長補佐~係長級)及び希望者。 [定員]琴浦町：30名 北栄・大山町：各5名程度

◎ 参加申込(締切：令和元年10月4日(金))

琴浦町：各所属で取りまとめの上、指定フォルダへご記入ください。

北栄町・大山町：各町で取りまとめの上、下記にご報告ください。

◎ 報告・問合わせ 琴浦町役場総務課行政総務室(担当)藤田

TEL0858-52-2111 FAX 0858-49-0000 E-mail: fujita-j@town.kotoura.lg.jp

ことうら有隣塾とは？

職員の政策企画能力の向上を目的に、地域づくりなど各分野における有識者の方たちを講師に招いて行う研修会です。

ふるさと未来夢応援補助金について

総務課

1 事業の概要

ふるさと納税型クラウドファンディング※を活用し資金調達の支援を行うための制度が全国的に広がりを見せています。

本町でも本年度「ふるさと未来夢応援補助金」を創設し、NPO 法人等が行なう町の抱える課題解決のための事業に対し、応援する補助制度を始めました。

※ふるさと納税型クラウドファンディングとは・・・

自治体が抱える課題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、共感した全国の支援者からから寄附を募るしくみ。

プロジェクトの流れ



2 NPO 法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクトについて

補助金第1号

- ・事業名 「農家民宿」事業新規開設のための施設改修等整備事業
- ・団体名 NPO 法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクト
- ・取組内容 茅葺き古民家「金平家住宅」を農家民宿のできる施設に改修。「地域の伝統資産」として将来にわたり維持・管理すると同時に、都市・農村交流の拠点として活用。

◆ 11月中旬よりクラウドファンディングを開始！

クラウドファンディングトップ > 地域 > 地域文化 > 築130年の茅葺き古民家を後世に。鳥取県琴浦町に農家民宿 誕生へ

築130年の茅葺き古民家を後世に。鳥取県琴浦町に農家民宿 誕生へ

このスクリーンショットは、クラウドファンディングプロジェクトのページを示しています。左側には、茅葺き屋根の古民家の写真と「KOTOURA TATSUKODANI FURUSATO PROJECT」のロゴが掲載されています。右側には、支援者のプロフィールと支援のステータスが表示されています。

支援総額	425,000円
目標金額	1,500,000円
支援者数	26人
残り日数	36日

進捗率: 28%

購入型: All or Nothing

このプロジェクトを支援する
(※ログインが必要です)

このプロジェクトはAll or nothing形式です。11月15日(金)午後11:00までに、1,500,000円以上集まった場合に成立となります。

いいね! 367 シェア ツイートする BIブックマーク 0

プロジェクト概要 新着情報 0 応援コメント 26

R1.10.10 現在

マイナンバーカードを活用した消費活性化策について

総務課

1 マイナンバーカードを活用した消費活性化策の見直しについて

マイナンバーカードの普及促進及び消費税率引き上げ後の消費平準化対策として、マイナンバーカードを活用した地域限定の『自治体ポイント』制度について、抜本の見直しが図られ、全国共通の『マイナポイント』として令和2年度の制度開始に向けて準備を行います。

2 経過

- R1. 6. 4…………… マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進に関する方針にて自治体ポイントの基本的な制度設計が示される。
- R1. 7. 31…………… 自治体ポイントを抜本の見直しすることについて通知。
- R1. 9. 3…………… デジタル・ガバメント閣僚会議にて抜本の見直し後の制度設計示される。(中国四国ブロック9月25日説明会)
- R1. 9. 20…………… マイナンバーカードを活用した消費活性化策、町準備作業に係る補正予算議決(マイキーID設定支援員、リーフレット印刷ほか)

3 主な変更点

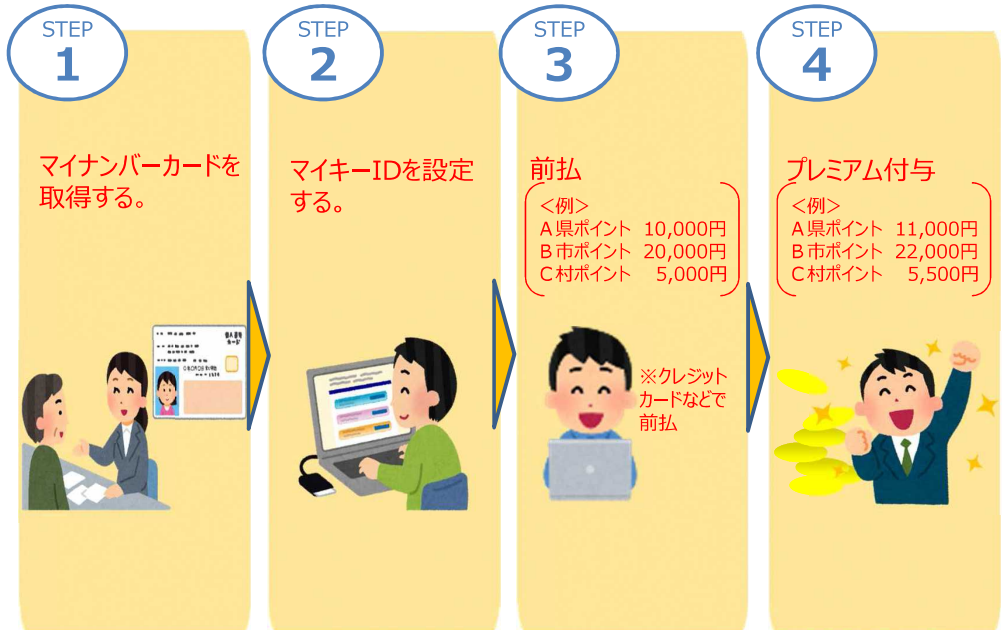
	見直し前	見直し後
ポイント範囲	市区町村単位の『自治体ポイント』	全国共通の『マイナポイント』
ポイント管理	マイナンバーカード IC チップ空きスペースを利用するマイキーID と ID を管理するプラットフォーム	変更なし(見直し前に同じ)
ポイント精算	一般会計を經由	民間キャッシュレス決済事業者による

※ポイントに付与されるプレミアム率やキャッシュレス決済事業者の参加数、参加店舗の申込み方法等未定部分も多く、今後を示される予定。

4 今後のスケジュール(予定)

- R1. 12…………… 広報予定
- R1. 12~R2. 3…… 店舗募集
- R2. 1…………… マイキーID 設定支援開始(本庁舎に窓口開設予定)
- R2. 7~9 頃……… マイナポイント開始予定

自治体ポイントの取得方法（2020年度）



※マイナンバーカード発行枚数：
17,047,384枚
(令和元年6月3日現在)

※マイキーID登録者数：
14,937人
(令和元年6月2日現在)

STEP 5-1

使い方①



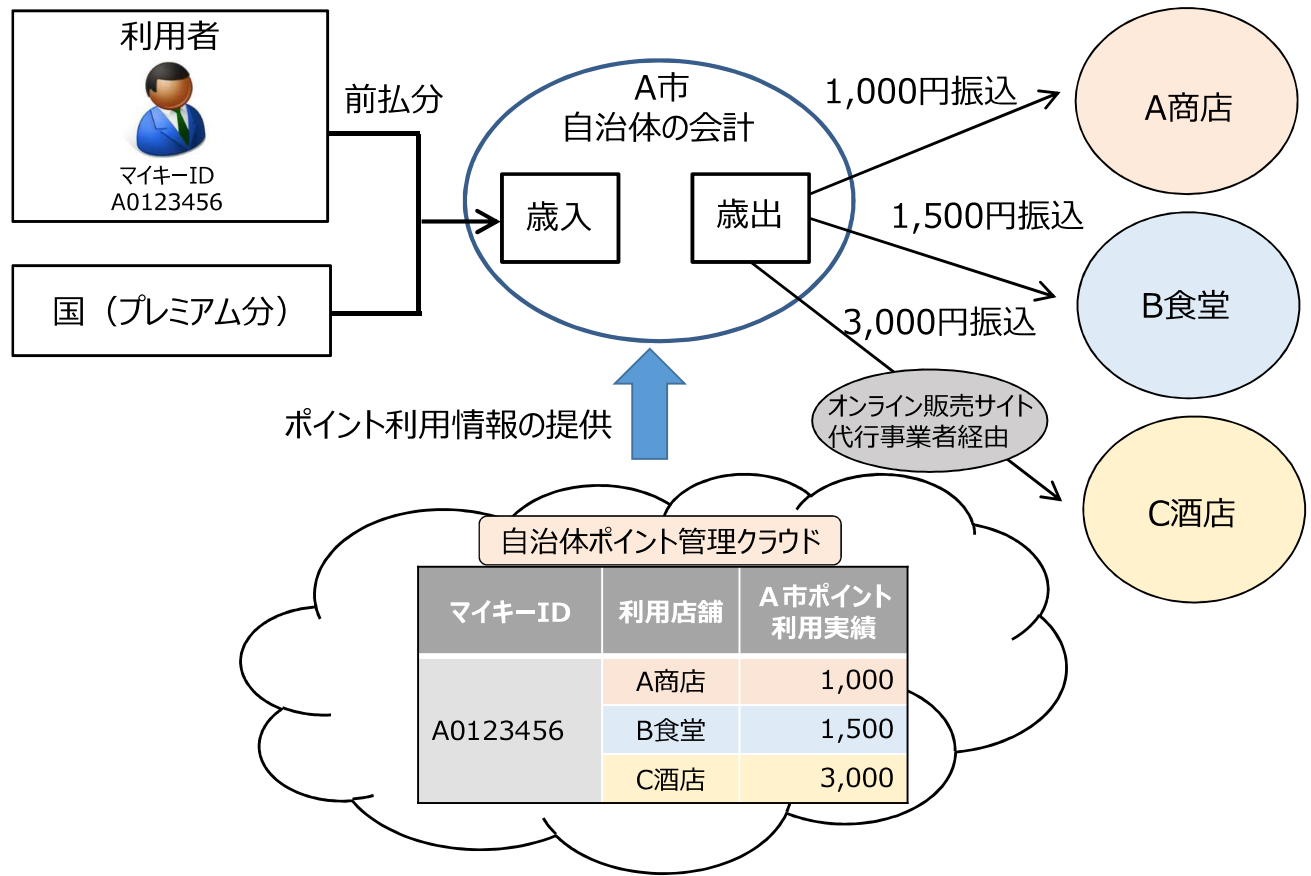
※QRコード決済も可能にする

STEP 5-2

使い方②



自治体ポイント利用後の精算（イメージ）

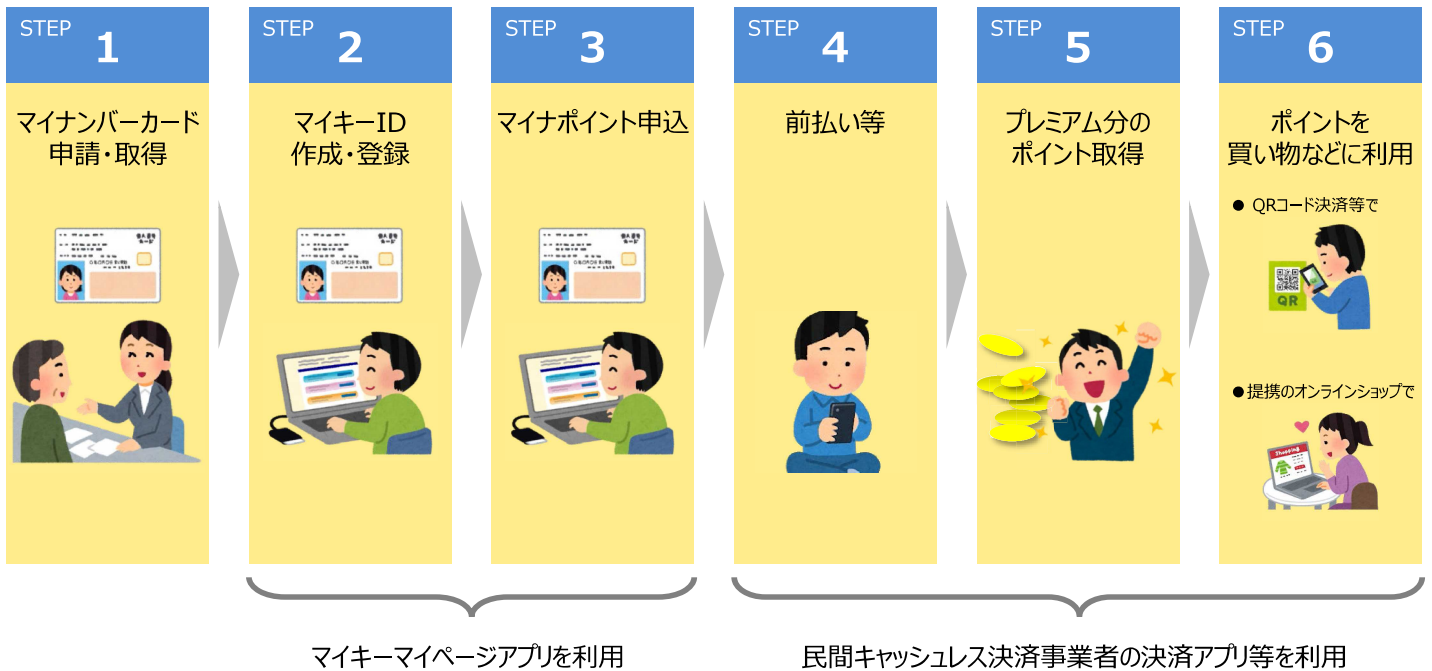


「マイナポイント」を活用した消費活性化策の事業イメージ（全体像）

変更後

民間キャッシュレス決済事業者等での対応

地方公共団体での対応



「マイナポイント」を活用した消費活性化策について（検討の方向性）

変更後

令和元年9月8日
デジタル・ガバメント関係会議
配付資料

- 一定金額を前払い等した者に対して、「マイナポイント」を国費で付与。

仕組みのイメージ

